

2023年度 学校自己評価シート (慶應義塾志木高等学校)

Table with 2 columns: 目指す学校像, 独立自尊の気風を養い、自主性のある、品格の高い、明るい塾生を育成する教育を行う。

Table with 2 columns: 達成度, A (ほぼ達成 (8割以上)), B (概ね達成 (6割以上)), C (変化の兆し (4割以上)), D (不十分 (4割未満))

Table with 2 columns: 重点目標, 1 基礎的な学問の習得, 2 個性と能力をのばす教育, 3 学校行事とクラブ活動の充実, 4 開かれた学校づくりの推進

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇談会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

Table with 2 columns: 出席者 学校関係者 6名, 事務局 (教職員) 1名

Main evaluation table with columns: 番号, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策. Row 1 details the '基礎的な学問の習得' goal and its implementation across various subjects.

Table with 2 columns: 学校関係者評価, 実施日 2024年5月11日, 学校関係者からの意見・要望・評価等

Multiple paragraphs of feedback and evaluation from school staff, including comments on student progress, teacher efforts, and suggestions for future improvement.

学校 自 己 評 価					2023年度 評 価 (2024年3月31日現在)		
2023年度 目 標					2023年度 評 価 (2024年3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
					<p>【学問・研究の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学特論では、エンターテイメントを文学史・哲学史と接続することで総合的に把握した。 ・日本語特論では、言語学の視点を取り入れながら、年間を通して「ことば」「コミュニケーション」について学びを深めた。レポート課題では、授業で扱ったテーマの中から興味のあるものに対して独自に調査・考察を行い、日常にあふれることばから、様々な気づきを得た。 ・社会Aでは、「仏教美術史入門-日本の古美術を読む」と題して、仏教美術の基礎知識や古代・中世の日本で作られた宗教美術の見方を学び、口頭発表と研究レポートの作成に取り組んだ。履修者の希望に応じて、6月には根津美術館（表参道）の企画展「教いのみほとけ-お地蔵様の美術」、10月には神奈川県立歴史博物館（馬車道）の特別展「足柄の仏像」の見学会を実施。実際に作品を鑑賞する機会を設けた。 ・社会Bでは、近代文明批評の名著であるオルテガの『大衆の反逆』を解説を交えながら通読し、思想書を精読するスキルの向上を目指した。また現代の国際情勢をオルテガの視点から考察するという課題にも取り組み、その成果の一部を取模祭で展示した。 ・英語Aでは、インプットとアウトプットの両面を意識して授業を行なった。歴史上の人物の説明を読んだ後、架空の人物を創造し発表した。また、英語での「顧客対応」や「採用面接」といった現実的な場面についての素材を読んだうえで、ペアで英語寸劇を行なった。最後は英国The Economist紙の記事を読んだ上で終身刑についての議論を行なった。それぞれの活動を通じて自律的に英語を学ぶ姿勢を身につけた。 ・英語Bでは、1・2年で実施してきた多読を集中して行なった。3年間継続することで楽しく読めるようになり、受講者の57%の生徒が読語数100万語に達し、平均読書冊数566冊、平均読語数105万語となった。また、読語数が100万語以上に達した生徒はスピーキングの流暢性が向上する傾向を確認した。 ・数学教育に関して、2009年度より高大連携教育の一環として行なわれている。本塾大学理工学部の数学の授業（学部1年生対象）を聴講できる制度が今年度も実施され、大学で学ぶ機会を得ることができた。 <p>【選択科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度より高大連携教育の一環として行なわれている、本塾大学文学部日吉キャンパス設置科目（一部）の履修制度（第3学年次に履修後、文学部進学の場合は卒業単位に含められる）について、今年度は延べ2名が履修し、熱心に受講した。 <p>【総合的な探究の時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24言語の「ことばと文化」を通して、各国の文化、伝統や言語を学ぶ機会が多くあった。 <p>【語学課外講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位とは関係のない語学課外講座においても、履修者数は7限84名、8限27名で約15%の生徒が学びを深めた。 <p>【全体的な学習環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校主催による学部説明会は三田キャンパスで、本塾各学部（医・理・総・環・看・薬）は見学会を各キャンパスにて対面で開催した。 <p>・『志木高案内』2023年度版を新規に作成し、生徒の学校生活における利便性の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害対応に関する教職員マニュアル」2023年度版を整備し、緊急対応の体制を充実させた。 ・『研究紀要』第54輯、『ことばと文化』第28号を発行し、教育・研究の発表の場とした。 		
2	現在の生徒数による教育の長所を生かし、教員と生徒との人間的接触につとめながら個性と能力をのばす特色ある教育を行う。	教員と生徒との人間的接触につとめながら個性と能力をのばす特色ある教育の実践	・精神面においては、クラス担任のみならず全教職員、医師、スクールカウンセラーによるきめ細かい指導の実践	・教員会議において生徒の現況の情報共有化を図り、と協力体制を構築する。	<p>【特色ある教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアのToowoomba Grammar School、フィンランドのLuostariyvuoren Lyseon Lukioとの国際交流（短期交換留学）、アメリカ、ハワイ州のPunahou SchoolにおけるSGLI（Student Global Leadership Institute）は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大や不安定な世界情勢の影響を受けて中止となっていたが、2024年度より再開するためフィンランド・オーストラリア・台湾に視察を行なった。 ・台湾のWego Private Bilingual Senior High Schoolとの国際交流は短期留学という形では行なえなかったが、夏から秋にかけて、オンラインで交流し取模祭や2023年12月の第135回志木演説会で成果報告を行なった。 <p>・2011年度より理科教育の一環として長野県諏訪市～新潟県糸魚川市周辺において、水質調査やジオパークの見学等、生物・化学・地学・物理の実習を行なっている。今年度より、実習内容を新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に戻し、すべての研修課程を実施することができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Toowoomba Grammar School、Wego Private Bilingual Senior High School、及びLuostariyvuoren Lukioとの国際交流事業の再開に向けて検討を行なう。 ・SGLIを通じて、英語が得意な生徒の意欲・能力をさらに高める。

学校関係者評価	
実施日	2024年5月11日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
日常生活における新たな視点を提供できたのではないのでしょうか。	
仏教美術の理解を深める貴重な体験を得たと思いますし、展覧会の見学は、授業で学んだ知識を実践的に活用しリアルな学び提供となったと思います。	
国際情勢をオルテガの視点から考察する課題は刺激的で興味深い学びの機会となったのではないのでしょうか。	
大変興味深いトピックスや題材をベースとした英語の授業を実施頂き、高校生の好奇心を常に刺激するような授業を行なって頂くと感じております。	
より実践的で具体的な英語学習だと思います。	
高校生にして、大学の勉強に先んじて触れる機会を頂いたことで、今後の学習がイメージしやすくなり大変有効であったと思います。不確実性の高い世の中であればこそ、大学の学習までを含め俯瞰的に見渡せるカリキュラムは高校生にとり極めて有益と思います。	
慶応義塾大学での授業を先取りし将来のイメージがわく貴重な機会だと思います。	
数学が得意で好きな生徒にとって、特に興味深い試みであると思います。高校生にして、大学の勉強に触れる機会を頂いたことで、今後の学習がイメージしやすく大変有効であったと思います。このような制度があることを存じ上げず、生徒は皆この制度を知っているのでしょうか。	
慶應義塾志木高等学校ならではの多言語は、単純な言語学習ではなく未来のボーダレス人材育成に大きな影響を与えていると考えます。今後もことばを通して世界を学ぶ機会を生徒達へ体現することを願います。	
息子が週一の通院のためほとんど授業に出られず、先生に申し訳ないことをしてしまったと思いました。お詫びいたします。	
1年生から英語だけではなく、興味のあるスペイン語や中国語など他国の文化を学びつつ、新しい言語を学ぶことができとても楽しそうでした。24言語の学習の機会は、世界各地への興味を広げる機会になると思いますので今後もぜひ志木高の良さの一つとして継続していただきたいと思います。	
生徒の教養やコミュニケーション能力の向上だけでなく、将来のキャリアや学びの幅を広げる可能性も秘めており大変良い事かと思えます。	
大学での学習のイメージを早い段階から知る機会を頂き、生徒にとっては将来計画を策定する上で大変参考になったと思います。	
慶應生としてのイメージがわかり、大変有意義な機会と思います。	
1年生から大学の学部説明会に参加できるので、自分の興味ある学問や将来のことを漠然とではなく、実際に見て触れることができるのでとてもよい機会であると思います。	
重要な冊子です	
危機管理上必要なマニュアルだと思います。	
大変貴重な場だと思います。	
再開が出来て良かったと思います。	
入学から2年間はコロナの影響もありオンラインでの交流でしたが、来年度よりリアルな交流が始まるとお聞きしました。既に留学生の受け入れにも立候補させて頂き2年越しの国際交流に親子共に楽しみしております。	
高校時代の国際交流は人格形成に大きな影響を与えますので重要な機会かと思えます。発表の場があるということは非常に大切かと思えます。	
学校や先生方のおかげで、この特色ある研修旅行がコロナ感染拡大前の水準で行われたことを感謝いたします。	
単なる観光ではなく、あくまでも教育的な伝統的イベントだと思います。生徒は深夜までレポートをチームで書き上げて貴重な機会だと思います。	

学校自己評価			
2023年度目標		2023年度評価 (2024年3月31日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	評価項目の達成状況
4	ホームページ等で情報を有効に発信し、学校行事、学校施設等を開放するとともに、本校生徒が小学校、中学校、養老施設等を訪問し、交流を図る。	家庭、地域社会に対する積極的な情報の発信、オープンキャンパスの実施、生徒の積極的な地域活動への参加	<p>・各委員会の連携と内容の充実</p> <p>・教員会議において活動状況の情報共有化と協力体制を図る。</p> <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『学校案内2024』を刊行した。 公式ウェブサイトおよびx (旧Twitter) のアカウントを引き続き活用し、情報の提供に努めた。 <p>・新型コロナウイルス感染症の影響から、PTA総会をHR棟各クラスに分散して校内放送で実施していたが、2023年度は元の体育館での実施に戻した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響から、保護者会については学年単位で時差開催としていたが、2023年度より1・2・3年生全体で行なう方法に戻し実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響で2020年3月から中止していた学校見学は、外部イベント予約サイトを利用した事前申し込み制で、2022年10月から再開、2023年度は事前申し込みも不要の以前の方法に戻した。</p> <p>・本校主催の学校説明会は、外部イベント予約サイトを利用した事前申し込み制で、2022年度に比べ予約可能数を倍増させて、11月に対面で開催した。</p> <p>・入試については、外部インターネット出願サイト (miraicompass) を今年度も継続して利用した。</p> <p>【授業に絡めた地域理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種小論文コンクール等への参加や出品を、積極的に行なった。 <p>【クラブ活動を通じた地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は、2024年3月20日 (木・祝) に本校新多目的棟「光彩館」において第16回定期演奏会を開催した。 ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は5月、社会福祉法人ルストホフ志木において、また、12月、特別養護老人ホーム「草加キングスガーデン」において、入所者、ご家族、職員の皆様のために演奏した。 ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は、2023年10月大学、三田会OBと共同で「WAGNER FEST 2023」を東京芸術劇場コンサートホールにおいて開催し、演員 (2,000人) の観客の前で演奏した。 <p>・器楽部が第25回定期演奏会 (3月30日、31日) を開催した。従来会場としていた志木市民会館が建て替え工事のため光彩館を会場としたが、比較するとだいぶ手狭なため、入場者にはチケット予約サービスを通じて事前予約していただく方式をとった。3回の公演で700名超の観客に部員たちの演奏をお楽しみいただいた。</p> <p>・器楽部が地域のお祭りなどのイベントで演奏する機会を持った。</p> <p>【学校行事を通じた地域交流】</p> <p>【学校施設を利用した地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣 (志木市、朝霞市、新座市) 在住の方々を対象とした校内自然観察会を5月と9月の2度開催し、秋の自然観察会では過去最高の171名の来校者を迎えることができた。 <p>・例年、近隣小学校および保育所に本校の敷地を一部開放し、どんぐり拾い等の行事に供しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いていることもあり開催されなかった。</p> <p>・年に数回近隣のラグビースクールにラグビー場を使用してもらっている。</p> <p>【地域との交流】</p> <p>志木市立の中学在籍生徒に対する勉強支援事業「志木市ベーシックサポート事業」に、本校から多くの生徒が有償ボランティアとして参加した。今年度から始まった志木市の事業で、夏休み期間と秋の2回実施された。受講した中学生からも好評をいただいた。</p> <p>【学校いじめ防止基本方針に基づく取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に基づく調査を実施し、教員会議において複数回議論を行なった。また、今年度も学校自己評価と併せて校内掲示にて周知した。 2023年度より「いじめアンケート」の実施回数を増やし、回答内容に応じて、具体的な対策を講じた。

学校関係者評価	
実施日 2024年5月11日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
これを通じてらしさや、魅力的な学校だと受けとめてもらっていただければよいと思います。質の良い正しい情報をタイムリーに発信していく上で必要なツールだと思います。	
旧ツイッター等を含むインターネット上の書き込みで、志木高生徒による志木高自体または自らについての自虐的な書き込みが散見されます。ネット上の書き込みですので、他の志木高生を含む全世界の人の目に触れることになるため好ましいものとは言えません。また、福澤先生の説く独立自尊の精神とは相反するものであり、気品の源泉、智徳の模範たり得ないものではないかと思料します。とはいえ、生徒自身にも表現の自由、言論の自由がございます。それゆえ、書き込み自体を禁ずることはできないと思いますが、「独立自尊」「気品の源泉、智徳の模範」といった慶應義塾の理念をより生徒たちにより一層伝えていただけたらと思います。	
大変効率的で宜しいかと存じます。	
人気校ですので、再開されてよかったと思います。	
1年生は学校見学会に参加し、受験することができたので見学会を再開していただきありがとうございます。今後もぜひ慶應義塾志木高等学校の方針や特色を中学生やその保護者の方々、ほか外部の方に理解いただくため、学校見学や学校公開、地域行事を引き続き重視し、志木高のアピールの場にしていただきたいと思ひます。	
ホームページ上での学校説明会開催のご案内は、もう少し早い時期にされた方がいいのではないかと思います。他の高校に比べると告知の時期が少し遅かったため、息子が中3のときは説明会不参加かと思ひがよぎりました。	
ネット出願は世の中の潮流かと思ひます。	
生徒が自らの考えをまとめたり、競い合う機会があるということは、貴重な事だと思ひます。	
地域の高齢者や福祉施設の利用者に音楽の癒しや音楽の楽しみを届ける素晴らしい取り組みと思ひます。	
生徒たちの音楽活動の幅を広げたいと思ひます。	
制限あるなかで、演奏会を成功し、地域の音楽文化に貢献した点で高く評価されるのではないでしょうが、	
クラブ活動や学校施設を通じた地域交流は、生徒の人格形成や学校と地域の絆にも寄与すると思ひますので、是非継続してほしいと思ひます。	
過去最多の来校者とのことで、地域における慶應義塾志木高等学校の価値を感じます。これまでに以上は地域と共創できる交流を望みます。	
近隣地域の方々との交流の会を開催することは、共存していくうえで素晴らしい取り組みだと思ひます。	
地域交流、地域との共存、地域貢献等は、生徒の人格形成にも寄与すると思ひますので、是非継続してほしいと思ひます。	
地域との連携を通じて学校の活動を豊かにしていると思ひます。自然観察会は企画としても面白く、学校の環境の良さをアピールできる場でもあり、継続して頂きたいと思ひます。	
危機管理されての中止ならやむを得ないと思ひます。	
ラグビースクールへの施設提供は、地域に開かれた姿勢を示しているものと思ひます。	
教える側の難しさや喜びを体験でき、かつ、地域に貢献できるいい機会だと思ひます。中学生の方には志木校生の魅力が伝わったのではないかと思ひます。	
このような勉強支援事業は、地域社会と学校の連携を強化、生徒の成長や地域社会の発展に貢献する素晴らしい取り組みと思ひますし、志願者も増えることと思ひます。	
実施回数を増され、内容に応じた具体的な対策を講じることは、問題の早期発見・支援へつながりますので有効な対応策と考えております。	